

青木 保文化庁長官の トークサロン

2009年 4月15日 水
19:00~20:00 (開場18:30)

ゲスト **辻井 喬** さん

詩人・作家

本名：堤清二

財団法人セゾン文化財団理事長

場所 文部科学省情報ひろば「ラウンジ」
(旧文部省庁舎1階)

入場無料 約30席 自由席 事前申し込み不要

主催  文化庁



カフェ・アオキ Cafe Aoki



本名、堤清二。1927年（昭和2年）東京生まれ。東京大学経済学部卒。衆議院議長を務めた父・康次郎の秘書を経て、1954年（昭和29年）に西武百貨店入社。以後、西友、パルコ、ファミリーマートや、セゾンカード、無印良品、ロフト、ホテル西洋銀座、さらに映画制作・配給のシネセゾン、音楽・映像ソフト店のWAVE、セゾン美術館、銀座セゾン劇場、PARCO劇場などの企業・事業を相次いで展開し、文化を全面に打ち出すセゾングループの代表として活動。1991年（平成3年）にグループ代表を辞し、経営の第一線から引退。現在は(財)セゾン文化財団の理事長、および(財)セゾン現代美術館理事長を務める。

1955年（昭和30年）に辻井喬として詩集『不確かな朝』を刊行、以来数多くの作品を発表。2006年（平成18年）に恩賜賞・日本芸術院賞を受賞。日本芸術院会員、日本ペンクラブ理事、日本文藝家協会副理事長。詩集に『異邦人』（室生犀星詩人賞）、『群青、わが黙示』（高見順賞）、『鶯がいて』（現代花椿賞、読売文学賞詩歌俳句賞）、『自伝詩のためのエスキース』（現代詩人賞）、また小説に『いつもと同じ春』（平林たい子文学賞）、『虹の岬』（谷崎潤一郎賞）、『風の生涯』（芸術選奨文部科学大臣賞）、『父の肖像』（野間文芸賞）、『遠い花火』、評論・エッセイ集に『新祖国論』などがある。英、仏、伊、独、露、中、韓など各国語での翻訳出版も多数。

霞が関から文化力

検索

霞が関から


文化力
POWER OF
CULTURE